

映画プロデューサー 黒澤満

映画プロデューサー 黒澤満

『最も危険な遊戯』(1978)をはじめとした松田優作主演作や『Wの悲劇』(1984)、『あぶない刑事』シリーズや『ピー・バップ・ハイスクール』シリーズなど、多岐にわたるヒット作を世に送り出した映画プロデューサー・黒澤満。撮影所システムが衰退して人材育成も困難とされた1970年代から、常に魅力的な企画と優秀な人材を核とした、野心的な映画作りに挑み、松田優作や館ひろし、仲村トオルら有名俳優やスタッフを多数輩出したことでも知られます。映画界に偉大な足跡を残し、多くの映画人の尊敬を集めながら、惜しくも昨年逝去された黒澤満の仕事から、上映される機会の少ない秀作を厳選してお届けします。

5/18[土] 14:00-15:43

べっぴんの町

(103分・35mm・カラー)

1989(東映)

企 黒澤満 監 原隆仁 原 軒上治

脚 柏原寛司 撮 宗田喜久松

美 中村州志 音 笠邑紀見男

出 柴田恭兵、田中美佐子、本木雅弘、和久井映見

少年院で教官をしていた探偵(柴田)のもとに社長令嬢(和久井)搜索の依頼が来る。探偵は少年院時代の教え子でエリートやくざの左山(本木)の助力を得て仕事を開始するが…。TV『西部警察PartⅢ』(1983-84)でデビューした原隆仁監督の劇場長篇デビュー作。『あぶない刑事』で爆発的な人気を得た柴田恭兵の個性を最大限に活かしたセントラル・アーツ作品らしいハードボイルド・アクション。

5/18[土] 16:00-18:03

行きずりの街

(123分・35mm・カラー)

2010(『行きずりの街』製作委員会)

制 黒澤満 監 阪本順治

原 志水辰夫 脚 丸山昇一

撮 仙元誠三 美 小澤秀高 音 安川午朗

出 仲村トオル、小西真奈美、南沢奈央、窪塚洋介

郷里の丹波で塾講師をする波多野(仲村)は、東京に出て行った教え子(南沢)の行方を探すうち、女子高の教師をしていた彼自身の消せない過去と向き合うことになる。黒澤が『新・仁義なき戦い』(2000)『カメレオン』(2008)で組んだ阪本順治を再度指名し、丸山昇一(脚本)、仙元誠三(撮影)、渡辺三雄(照明)も久々に集結した、セントラル・アーツのDNAを感じさせるサスペンス映画。

5/19[日] 14:00-15:33

死の断崖

(93分・16mm・カラー)

1982(日本テレビ=セントラル・アーツ)

ブ 山口剛、黒澤満、伊地智啓 監 工藤栄一

原 菊島隆三 脚 高橋正康

撮 仙元誠三 美 菊川芳江 音 木森敏之

出 松田優作、夏木マリ、一色彩子、

竹田かほり、岡田英次

日本テレビ系列の「火曜サスペンス劇場」枠で放映されたドラマ。貧しい炭坑出身だが今は大手商社の有能な社長秘書となった青年・尾形(松田)。社長の太橋(岡田)からの信頼も厚かったが、恋仲になった社長令嬢(一色)との結婚を反対され、次第に反目し合うようになっていく。松田優作がエリート・サラリーマンの転落を情感豊かに演じきった。

5/19[日] 16:00-17:32

カルロス

(92分・16mm・カラー)

1991(東映ビデオ=きうちかずひろ=講談社)

企 黒澤満 監・原 きうちかずひろ

脚 木内一雅 撮 仙元誠三

美 大嶋修一 音 大谷和夫

出 竹中直人、チャック・ウィルソン

ブラジルで警官殺しの罪で指名手配され、東京に潜伏した日系3世のカルロス(竹中)。やくざ組織の跡目争いのヒットマンとして利用された彼は、次第に組織を壊滅に追い込んでいく。漫画『BE-BOP-HIGH SCHOOL』で知られるきうちかずひろのオリジナル企画で、きうちは監督にも初挑戦。竹中直人やチャック・ウィルソンの怪演も光る、異色のバイオレンス・アクションとなった。



MOMAK FILMS